

徳島大学 インターナショナルオフィス ニュース

No. 41
2024.10

日本留学フェア・大学進学説明会

日本留学フェア

2024年7月13日(土)、14日(日)に台湾台北市で開催された「2024年度日本留学フェア」に参加し、徳島大学について紹介・説明しました。90名が訪れ、入学するための試験、奨学金・授業料免除、大学寮、生活の環境などについて説明しました。



本学ブースの様子

大学進学説明会

2024年6月29日(土)、東京で開催された「外国人留学生のための大学進学説明会」に参加し、徳島大学のブースを訪れた24名に対して、大学の概要を紹介・説明しました。来訪者の多くは学部進学を希望しており、入試科目や得点、学費、寮などについての質問が寄せられました。



説明会会場の様子

サマースクール「徳島で会おう」

2024年8月1日(木)から9日(金)まで、インターナショナル・サマースクール「徳島で会おう」を開催しました。台湾、モンゴル、ベトナム、インドネシア、マレーシアから43名の学生が参加し、書道、茶道といった日本文化や、阿波踊り、人形浄瑠璃などの徳島の文化を本学の学生と一緒に学びました。今年度は初めて、新野キャンパスで地元高校生や本学学生との交流・ワークショップも行いました。また、県知事を表敬訪問したり、県庁や県警本部を見学したりして、日本の行政の様子を知る機会もありました。参加学生からは「新しいことをたくさん学べた」「日本人や他の大学からの学生と友だちになれた」「将来、徳島大学で勉強したくなった」などの声がありました。



書道ワークショップ



研究室訪問

GRIP&海外留学プログラム

GRIP 第7期

2024年5月14日(火)からGRIP(Global Person Resource Intensive Program)を実施しました。第7期には、総合科学部と理工学部からの6名(各3名)、医学部(2名)、生物資源産業学部(1名)、創成科学研究科(1名)が参加し、マレーシアマラッカ技術大学(UTeM)との英語授業、総合科学部卒業生(中川氏)によるGlobal講演会、サマースクールでの海外学生との共同学習(日本文化紹介)などの活動を行いました。また、GRIP参加学生全員が南イリノイ大学(アメリカ)、UTeM(マレーシア)での語学・文化研修や、デラサール大学オンライン英語研修などに参加しました。

夏休み海外留学

夏休み期間中、現地留学プログラムとして南イリノイ大学カーボンデール校(アメリカ)、マレーシアマラッカ技術大学(マレーシア)、南臺科技大学(台湾)、大連理工大学(中国)、韓国海洋大学(韓国)、およびオンライン留学としてデラサールアラネタ大学(フィリピン)でのプログラムを実施しました。現地留学前には、「海外危機管理オリエンテーション」(7月8日)、「留学前準備講座―困ったときの英語」、および渡航前の事前研修(渡航や滞在中の注意事項など)を行い、海外留学を安全に安心して行えるようサポートしました。

南イリノイ大学 (アメリカ、8月19日～9月20日)

5週間の留学は非常に充実しており、英語はもちろん、アメリカの国風を実感したり、日本の存在を外側から見て考えたりすることができた。今回の留学は私にとって大きなチャレンジであり、不安を感じていた。けれども、いざ生活が始まり、目新しいものにチャレンジすると、自分の想像を超えた気づきや感動があり、挑戦するときの不安な感情はどんどん和らいでいった。博士号を取るためにインド、台湾などからアメリカに勉強に来ている方たちに出会った。自分も真剣に学修を続け、海外でも自分の専門を学ぶ機会に恵まれるように励みたい。

医学部医学科1年



南イリノイ大学(アメリカ)



南台科技大学

南台科技大学 (台湾、8月13日～8月31日)

素敵な人に沢山出会うことができた留学でした。私が日本人だと知ったときの街の人の温かさが印象に残りました。日本との違いで驚いたことは、性の多様性、タトゥーのハードルの低さです。多くの人が多様性を認めている場所なのだと思います。また、もっと現地の人とコミュニケーションをとれるようになってみたいと思いました。そのためには英語も中国語も流暢に話せる必要があります。この留学を通して、外国語学習に対するモチベーションが高まりました。台湾の学生と学校外でも関わりを持つことができ、一緒に食事に行ったりして、公園で台湾の学校事情を聞く貴重な機会を得られました。

医学部医科栄養学科1年



インターナショナルオフィス 最近の主な活動

日本語教育

日本語研修コース

日本語研修コースは、主に日本語の学習経験がない学生を対象とした約半年間の集中コースです。2024年度前期には、コスタリカ、モンゴル、中国からの留学生3名が、半年間日本語を学びました。授業では、毎日3時間の日本語学習のほか体験学習も行い、留学生は学んだ日本語を積極的に使いながら、藍染めなどを体験しました。8月9日に行われた修了式では、自分の国や大学生活について、日本語でスピーチを披露し、有終の美を飾りました。



藍染めの体験

総合日本語

総合日本語は、徳島大学で学ぶ留学生、研究者およびその家族を対象とした週2回の日本語クラスです。今学期、常三島キャンパスでは「初級1」「中級1、3」、蔵本キャンパスでは「初級1、2、3」「中級1、4」のクラスを開講し、45名が受講しました。受講生たちは、研究や生活との両立に苦労しながらも、日本語学習に取り組みました。

留学生のための就職支援

就職支援イベント・セミナー

県内の高等教育機関に所属する留学生を対象に、以下の就職支援イベント・セミナーを実施しました。

- ・ 5月10日(金)第1回「日本の就活・就職について学ぼう」12名参加(徳島大学11名、鳴門教育大学1名)
- ・ 6月21日(金)第2回「日本語面接への対策とビジネスマナー」8名参加(徳島大学7名、鳴門教育大学1名)
- ・ 7月12日(金)第3回「ジョブフェア&交流会」16名参加(徳島大学11名、四国大学3名、鳴門教育大学1名、徳島文理大学1名)

インターンシップ



インターンシップの発表会

2024年9月25日(火)・26日(水)の2日間、大塚製薬株式会社板野工場でインターンシップを実施しました。今回は、留学生(4名)と日本人学生(5名)によるSDGsをテーマとした共同学習を実施し、25日には同工場の視察、翌26日には視察内容のまとめ、ならびにグループでの発表を行いました。今後も継続して同様のインターンシップを展開し、留学生の就職を支援していきます。

国際交流

GRIP Free Talk Session

2024年4月22日(月)から7月11日(木)まで、GRIP English Free Talk Sessionを開催しました。毎日、午後5時から7時まで、計44日間開催し、のべ419名の学生が利用しました。2022年度から集計を始めて最も多い利用者数となりました。外国人留学生と日本人学生が自由に英語で話したりゲームしたりする場となっており、お互いの言語や文化を学ぶことができました。今後もこの活動を続けていく予定です。

新入留学生 Welcome Event

2024年4月22日(月) 18:00から「新入留学生 Welcome Event」を開催しました。当初、日本人・留学生を含め40名ほどの参加者を予定していたのですが、最終的には60名を上回る学生が参加したことで、とても賑やかなイベントとなりました。今後も同イベントを開催し、日本人学生と留学生との交流を促進していきます。



International Day

2024年7月10日(水) 18:00から、International Day : Let's Enjoy Malaysian Foods and Learn Malaysian Culture and Languageを開催しました。

21名の学生が参加し、マレーシアのチキンカレーなどを味見しながら同国の文化や言語・歴史をマレーシアの留学生から学びました。



留学生への生活指導

新入留学生を対象に、留学生活の円滑なスタートを支援するため、前期および後期に常三島キャンパスと蔵本キャンパスでガイダンスを実施しています。前期は、4月16日(火)に蔵本地区、4月19日(金)に常三島地区で開催し、合計41名の留学生が参加しました。ガイダンスでは、教員による説明に加え、徳島中央警察署の講師が防災対策や交通安全、110番通報の方法などについて詳しく解説しました。ガイダンス終了後には、徳島地域留学生交流推進協議会の協力機関から寄贈された食料品や日用品を、希望する留学生に配付しました。



日用品等配付の様子

